

議題（1）

デジタル田園都市国家構想交付金活用事業の効果検証について

新たな地域拠点を核とした きみつ魅力アップ・にぎわい 創出プロジェクト

※地方創生推進タイプ（横展開型）事業

2023(令和5)年度 事業報告

プロジェクトの概要

●目指す将来像・目的

持続可能なまちづくりのモデルケースとして、清和地域拠点複合施設「おらがわ」を核とする「人がつどい、にぎわいが生まれる」事業を展開し、各地区への横展開を図る。これにより本市全体での「まち」・「ひと」・「しごと」の好循環を生みだし、“つながりの連鎖”による更なるまちの活性化を図ることにより、将来都市像「ひとが輝き 幸せつなぐ きみつ」の実現を目指す。

●事業計画期間 2023(令和5)年度から2025(令和7)年度 3年間

●事業の概要 3分野 11事業 (2023年度 対象事業経費 5,877,584円 交付率1/2)

多拠点居住促進・関係人口創出への取組	「地域で稼ぐ・働く」の促進	プロジェクト推進と担い手育成体制の構築
(1)清和の暮らしとシゴトづくり実践事業 (2)地域魅力発信マップ作成事業 (3)空き家を使おう、清和で暮らそう・魅力満喫アクティビティ開発 (4)サイクリストなど立ち寄り拠点強化事業 (5)君津の朝めし	(6)ワークスペース拠点充実化事業 (7)地域資源ものづくりデジタル工作機材設置 (8)デジタル工作機材活用事業 (9)安心して働ける地域づくり	(10)プロジェクト支援マネージャー招聘 (11)担い手組織育成横展開事業

多拠点居住促進・関係人口創出への取組

取組	概要と2023年度実施状況	2024年度の方向性
(1)清和の暮らしとシゴトづくり実践事業	・ 地域資源を使った起業や地域づくり活動を生み出す支援となる、勉強会&トークイベント「循環の実感学校」（年間6回）の実施 ・ 通年参加者13名（うち市外より7名）	・ 「実感の循環学校」6回の実施 ・ 新たな活動の創造により重点を置き、地域内外をつなげるハブ人材の育成を目指す。
(2)地域魅力発信マップ作成事業	・ 地域への「関わりしろ」をテーマにした清和の魅力発信マップと地域のビジョンを示すマップを作成。 ・ 地域デザイナーと住民による、事前調査活動（まちあるき）を4回実施。インタビュー動画など撮影。	・ 調査活動の継続 ・ 年度内のマップ（紙面版・デジタル版）の完成。



(1) 実感の循環学校 第1回
指出一正氏（ソトコト編集長）をゲストに迎えて



(1) 実感の循環学校 第6回
古民家リノベゲストハウスにて、報告発表会



(2) 魅力発信マップ作成
調査活動後のマップ作成会議

多拠点居住促進・関係人口創出への取組

取組	概要と2023年度実施状況	2024年度の方方向性
(3)空き家を使おう、清和で暮らそう・魅力満喫アクティビティ開発	・関係団体への支援を通して、地域の空き家調査や、空き家所有者向けの貸し方・売り方等に関するセミナーを実施。利活用モデルとして交流拠点「清和ウェルカムハウス」の整備。 ・地域体験プログラム情報発信サイトの開設。	・清和ウェルカムハウスを活用した地域アクティビティの展開。 ・地域住民向け空き家相談会や、移住希望者向けの地域ツアーなどの開催。
(4)サイクリストなど立ち寄り拠点強化事業	・鹿野山の麓に位置する「おらがわ」を立ち寄り地として定着化させ、繰り返し君津市に訪れるサイクリストを増やす。 ・「立ち寄りお試しDAY」開催（2回）来訪サイクリスト24名。アンケートの実施 ・WEBサイトによる情報発信	・「立ち寄りDAY」の他、サイクリングイベントなどに関連させた取組の実施や、新規イベントの企画 ・「おらがわ」におけるサイクリスト関連品の整備（空気入れなど） ・WEBサイト、SNSによる情報発信
(5)君津の朝めし	・関係団体への支援を通して、清和地区周辺の観光地を訪問する観光客に向けて、メインとなる目的地の訪問前に、「おらがわ」において、羽釜でご飯を炊いて朝食にする体験イベントを実施。 ・運営体制の確立、試行イベント(2回)の実施	・春季、秋季の定期実施



「地域で稼ぐ・働く」の促進

取組	概要と2023年度実施状況	2024年度の方角性
(6)ワークスペース拠点充実化事業	・「おらがわ」に設置されたコワーキングスペースへの機器・什器の設置により、その実用性を高め、新しい働き方が実現できる場、多様な働き方・活動の場としての充実化を図る。 ・コワーキングスペースへの複合機の設置	・コワーキングスペースへの複合機の設置（継続） ・民間企業との実証実験に伴う家具・什器の購入
(7)地域資源ものづくりデジタル工作機材設置	・「おらがわ」にデジタル工作機材を設置し、清和の地域資源を用いたものづくりやフリーランス型のビジネス創業・商品づくりなどに向けた活用を図る。 ・工芸室にデジタル木工機器（CNCルーター）を設置	・工芸室に3Dプリンター等の設置（リース）



(6) ワークスペース拠点充実化事業
「おらがわ」内コワーキングスペースの様子



(7) 地域資源ものづくりデジタル工作機材設置
「おらがわ」工芸室に、デジタル木工機器（CNCルーター）を設置



「地域で稼ぐ・働く」の促進

取組	概要と2023年度実施状況	2024年度の方方向性
(8)デジタル工作機材活用事業	・ 設置するデジタル工作機材の利用促進を図り、「ものづくり」と「まちづくり」を結び付けることができる人材を育成するためのワークショップを実施（1回）。参加者6名	・ ワークショップの通年開催
(9)安心して働ける地域づくり	・ 清和地区の住民の働き方の選択肢を増やし、住み続けられる地域づくりの実現を図るため、関係団体への支援、住民の相互協力による平日夕方の子どもの居場所づくり・見守り活動を実施。年間28回開催。参加児童のべ619人 ・ 地域団体と連携した見守り隊の確保	・ 「おらがわ」での学期期間中の平日毎日を目指し、体制を整備。



(8) デジタル工作機材活用事業
ワークショップの実施



(9) 安心して働ける地域づくり
子どもの居場所づくり・見守り活動

プロジェクト推進と担い手育成体制の構築

取組	概要と2023年度実施状況	2024年度の方方向性
(10)プロジェクト支援 マネージャー招聘	・全国各地で住民活動と企業連携によるまちづくりを手掛ける地域協働コーディネーターを招聘 ・会議、打合せ、現地調査などによる助言・支援（年間116回） ・民間企業、外部人材とのマッチングや周知支援（年間17回）	・①本プロジェクト全体への助言と推進支援 ②地域、企業、行政の関係性の構築 ③地域組織の事業性確立に向けた支援及びマネジメント の3点を委託
(11)担い手組織育成横 展開事業	・市内各地区における住民主体の地方創生担い手となる地域協議会設立に向けた制度設計と、それに向けた地域懇談会（全5会場）の実施	・地域づくり協議会認定1地区 ・地域づくり協議会設立準備会の発足2地区と、関連するワークショップ等の実施



(10) プロジェクト支援マネージャー招聘
おきなまさひと氏
(まちびと会社visionAreal 共同代表)



(11) 担い手組織育成横展開事業
「シン地域づくり懇談会」5会場開催

交付対象事業の重要業績評価指標（KPI）

	KPI		開始前	2023(R5)	2024(R6)	2025(R7)	実績値の課題・今後
1	イベントなどへの市外からの参加者数／年		計画値(前年度比)				・ 7種のイベントで、市内参加157人、市外参加88人であった。 ・ 2024年度も継続して、地域内外の参加を得る取り組みを実施する。
				30人増	70人増	100人増	
	2022年度	2025年度	実績値				
	0人	200人	0人	88人(88人増)			
2	活動が新たに始まった地域ビジネスなどの数／年		計画値（前年度比）				・ 支援マネージャーの積極的な関与により最初の1件の実績を得ることができた。 ・ 清和の暮らしとシゴトづくり実践事業などを通して積極的な支援を継続する。
				1件増	2件増	2件増	
	2022年度	2025年度	実績値				
	0件	5件	0人	1件(1件増)			
3	コワーキングスペースの利用者数（月平均）		計画値（前年度比）				・ HP開設や各所へのチラシの配架などに努めたが、計画値には届かなかった。 ・ 上記に加え、県サイト等への掲載やSNSによる情報発信、また、部屋の付加価値向上などにより利用者増を図る。
				120人増	120人増	120人増	
	2022年度	2025年度	実績値				
	0人	360人	0人	33人(33人増)			
4	地域組織の運営に関わる人		計画値（前年度比）				・ 各種事業の運営が中心となり、会員募集周知に手が回らなかったことや、組織の性質への理解が広がらなかったことにより計画値に達しなかったと推察される。 ・ 組織独自の広報に加えて、市による情報発信を行い、担い手を創出していく。
				17人増	15人増	10人増	
	2022年度	2025年度	実績値				
	38人	80人	38人	51人(13人増)			